



石上さんの里芋



里芋は1株でこれほど大きくなります。今年はあまり出来が良くないそうで、いつもならもっと大きくなるそうです。



今、出荷しているのは石川早生という品種です。乾燥を防ぐため土をつけたまま新聞紙に包み、冷蔵庫には入れず常温で保管し、お早めにお食べ下さい。

★夏の酷暑の影響が出ています

猛暑、酷暑という言葉が多く聞こえた夏がようやく終わった感じがします。猛暑日とは最高気温が35℃を超える日を言うそうですが、昔はそれほど暑い日が無かったためこの言葉が誕生したのは2007年とのこと。ここ10年ちょっとで日本の気候はそれほど大きく変わりました。「昔は3日に1回は夕立が来てたのにな」と良く聞きますが、今夏は千葉県は雨も少なく気温が下がりませんでした。今の子供たちの中には夕立という言葉を知らない子も多いのでしょうか。

「災害レベル」と言われた暑さのため今夏は多くの野菜に高温障害が出ました。例えばお盆明けから出荷予定だったミニトマトは、ヒビ割れや虫の大発生で壊滅に近い状態。長ネギを作っている生産者も「夜の気温が下がらなかったせいか今年は細いよ」と例年より出荷開始を2週間遅らせました。

里芋を作っている石上さんも「あんまり良くないね」と言います。春に種芋を植えた後、乾燥しないように定期的に散水と追肥を行って育てていくのですが、今年は茎も細く、丈も低く、玉も小さめと言います。「水やりをいつものようにやっていたんだけど、お盆ぐらいに来た台風の後、葉っぱがやられちゃったな。暑さのせいか葉に丸い点々が出る病気が出て。生育も一気に終わっちゃった感じなんだよ。いつもは8月からぐんと大きくなるんだけどな」人参も発芽した後に熱風でやられて蒔き直しをした人も多く、天候の影響が一番受けているのが生産者です。そんな中でも手間をかけ値段も変えず、頑張ってお荷を出荷を続けていること、ご理解を頂けると有難いです。

【産地情報】

◎ミニトマトは、ほぼ壊滅状態なので、今秋はほとんど出荷が出来ない模様です。

◎人参は月末を待たず近日終了予定です。さつま芋は22日(土)から出荷開始予定です。